

梅木 加津子 議員



一括質問方式

- ① 大洲市公共施設等総合管理計画
- ② 地域医療
- ③ 地域公共交通の整備
- ④ 子育て支援
- ⑤ 非正規職員に対する退職金等
- ⑥ 肱川河川整備計画

地域医療について

問

肱川地域の病院確保について、市長は3月議会で肱川地域の病院確保についてお聞きした際、福田医院の現在の施設を民間に継承して

いただくのが最もいい。他市町や医療関係者の意見も聞き、条件を整えて医師募集をしていきたい、医師確保に最大限の努力をしていきたいと答弁された。病院の確保について、現在の進捗状況を伺いたい。

答

地元自治会や関係者の皆様は、民間の医師が福田医院の施設を継承していただくことを何よりも要望されていますので、医師を募集するための手段として、市公式ホームページ内に制作する移住・定住サブサイトにおいて、医師募集の掲載をすることとしています。

今後も市民の皆様が将来にわたり安心して地域医療を受けることができるよう努力していきたいと考えています。

地域公共交通の整備について

問

地域公共交通の整備については、28年度に現状把握を行い、平成29年度地域公共交通協議会で検討すると答弁されている。一日も早い実施が求められており、市民の方々の交通手段の確保の声はますます強く、

大きくなっている。具体的に本年度実施が可能な地域はあるのか。また、検討の結果、来年から一斉に実施するのか。

答

本年度大洲市地域公共交通網形成計画を策定することとしています。

各地区から路線バスの増便や「ぐるりんおおず」の拡充などさまざまな要望をいただいております。市としても、住民の利便性向上や利用の見込みなどを考慮しながら事業者と協議を行っていききたいと考えています。

なお、本年度この計画を策定するに当たり、改めて市民アンケートや路線バス乗降調査、また関係者ヒアリング調査などを行い、現状分析などや住民の方々の意向を把握し、実現の可能性が高い交通体系へ反映するとともに、一定のルールづくりも進めていきたいと考えています。

また、それぞれの地域内の交通については、地理的条件や運行状況も異なりますので、各地区と協議を行いつつながら、順次持続可能な交通体系の構築に取り組んでいきたいと考えています。

子育て支援について

問

3歳児保育が大洲、河辺で行われてきたが、市内に広げてほしいとの声が上がっている。空き教室がないから無理のようであるが、それではずっと親御さんの願いは届かない。建て増しするなど積極的な取り組みが必要であると考えているが、県下の取り組み状況を伺いたい。

答

県内、他市町の3歳児保育は、本市を除き3市で完全実施をしていない状況となっております。

今年度から市立幼稚園の今後のあり方について検討協議を始めていますので、3歳児保育の拡充などの施策や施設の有効活用についてもこの中で検討していきたいと考えています。

また、認定こども園の検討も実施することとしています。

今後さらに保護者のニーズに合った本市の就学前教育を充実させ、義務教育と連携した教育を展開するとともに、安心して子供を産み、育てられる環境づくりの推進に努めていきたいと考えています。